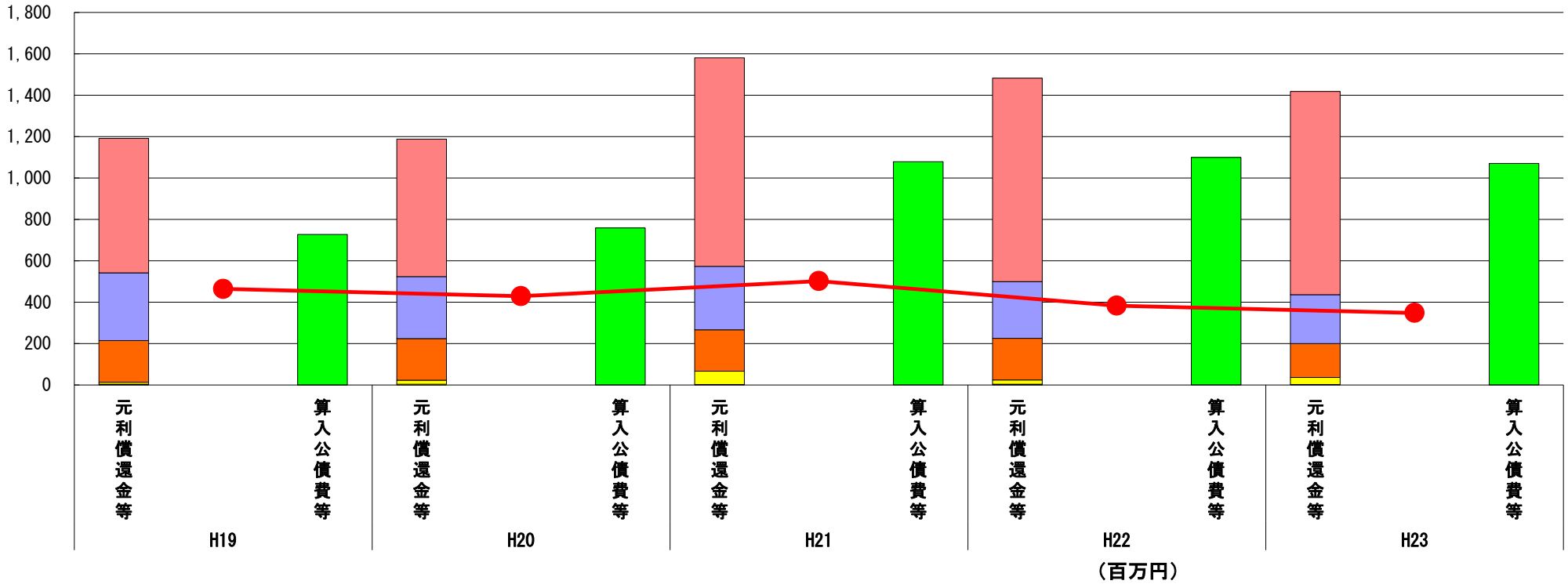


(7) 実質公債費比率（分子）の構造（市町村）

平成23年度

神奈川県湯河原町

(百万円)



分子の構造		年度	H19	H20	H21	H22	H23
元利償還金等 (A)	元利償還金		650	664	1,007	983	982
	減債基金積立不足算定額		-	-	-	-	-
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額		-	-	-	-	-
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金		328	300	307	275	236
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等		201	201	201	201	164
	債務負担行為に基づく支出額		9	19	64	21	34
	一時借入金の利子		4	4	2	3	2
算入公債費等 (B)	算入公債費等		728	759	1,079	1,100	1,070
(A) - (B)	実質公債費比率の分子		464	429	502	383	348

分析欄

債務負担行為に基づく元利償還金等について、増加が認められるが、リースによる物品の調達が増加したためと考える。その他の元利償還金等は地方債発行の抑制により、減少傾向にある。

※平成19年度決算と平成20年度決算の元利償還金は特定財源の額を控除しており、満期一括償還地方債に係る年度割相当額は減債基金積立不足算定額を含んでいる。

※平成21年度決算以降の算入公債費等は特定財源の額を含んでいる。

※平成24年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。